

浪花組本社ビル



関西を代表する建築家・村野藤吾の「村野らしさ」を語ろうとすると、作品を依頼したクライアントや作品をつくった職人といった村野以外の人の話もしなければいけないところにある。本作はその代表格。大正時代から続く左官業者の本社で、浪花組は村野建築の左官工事に多く関わっているが、それだけでなく、建築家としての成長を後押ししたクライアントでもあった。社長の中川貢は数寄屋造の自邸、経営に関わった今は無き「心齋橋プランタン」、各地の本支店など、生涯に8つの建物を村野に依頼した。そんな信頼感と職人技を基盤に、村野作品の中でも一ニを争う技巧的な外観が生まれた。他者とのコミュニケーションの中で個性を発揮した「村野らしさ」の象徴である。(倉方俊輔)

所在地：大阪市中央区東心齋橋 2-3-27
建設年：1964 年
構造・規模：SRC 造 5 階、地下 1 階
設 計：村野・森建築事務所（村野藤吾）